

解決したい
課題

子ども送迎用バスの置き去り防止

株式会社アイシン

2022年12月～2023年2月

R4実証内容

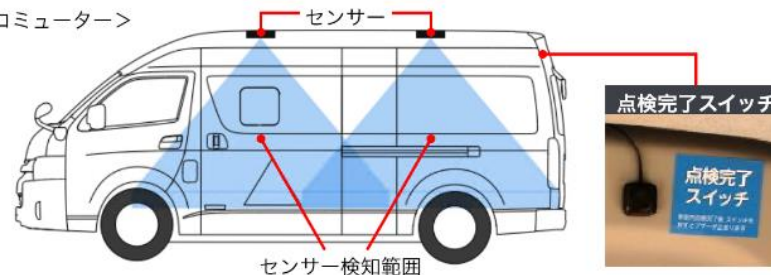
1. 背景

車内に取り残された子どもが熱中症で亡くなる事故が後を絶たず、重大な社会問題となっており、国内外で装備義務化への動きが加速化している

2. 子どもを送迎する施設のバスに搭載する機能

- ① センシングによる車室外警報
- ② 運転手に点検を促すシステム
- ③ 助けてスイッチ

<コンピューター>



3. 実証場所

- ・刈谷大和幼稚園 バス 1 台
- ・暁星幼稚園 バス 1 台

取組成果

① センシングによる車室外警報

- ・ 室内電波センサが置き去りを検知し、車室外警報装置（ホーン、ハザードランプ）が鳴動
- ・ 電波特性により、**暗闇、座席にうずくまる状況、呼吸による胸の僅かな動きも検知可能**

② 運転手に点検を促すシステム

- ・ エンジン停止後、車室内ブザーが鳴り、車内最後尾の点検完了スイッチを押すと停止

③ 助けてスイッチ

- ・ 置き去りにされた園児が押すと車室外警報装置（ホーン、ハザードランプ）が鳴動

結果考察（社会実装）

- ・ 2023年4月、国土交通省置き去り防止安全装置ガイドライン適合の認定品として登録（社会実装）
- ・ 子ども家庭庁ホームページ「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のリスト」に掲載

